

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	TT	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4	派遣国	台湾・中華民国
派遣大学	東海大学		
期 間	2025 年 9 月 4 日～ 2026 年 6 月 20 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2 人部屋 / 3 人部屋 / その他 (4 人部屋)					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (10,000) 円 *1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (10) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	45,000 円	学食、外食、コンビニ
学用品購入費	2,000 円	教科書
交通費	3,000 円	高速バス (市内移動は基本無料)
交際費	10,000 円	パーティーなど
その他	10,000 円	日用品購入、洗濯費、通信費、空調費

合計

約 70,000 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

治安は良好

市内中心地にはわずかに夜間危険な場所（KTV・クラブなど）があるが近づかなければ問題ない。

夜市などの道が細く、交通量が多い道は十分気を付けなければならない

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他（ ）		
加入期間	（ 10 ）ヶ月間	保険料	（ 103,930 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称			
加入期間	（ ）ヶ月間	保険料	（ ）円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **台中市** ）

台中市は台湾中部に位置する、台湾第二の都市である。都市としての利便性を備えながら比較的落ち着いた雰囲気があり、生活しやすい街である。市内には大型商業施設やスーパーマーケット、飲食店などが数多くあり、日常生活に必要なものを身近で揃えることができる。また、年間を通して温暖な気候であり、冬でも比較的過ごしやすいたことが特徴である。

台中では、夜市やローカルな飲食店が市内各地にあり、台湾ならではの食文化を日常的に楽しむことができる。特に大学周辺には学生向けの飲食店が多く、安価でさまざまな料理を味わうことができる。交通面では、バスが整備されており、市内の移動にも便利である。都市の利便性と落ち着いた生活環境の両方を備えている点が、台中市の大きな特徴である。

【学業編】

1. 大学情報

大学	東海大学	所在地	台中市西屯区
最寄空港	桃園空港	空港からの距離	2 時間程度（高速バス）
空港⇄大学	（空港から大学が手配したピックアップバス） *移動手段		
学生数	約 15,800 人	留学生数	約 1,000 人
学部	文学部 理学部 工学部 管理学部 社会科学部 農業・健康学部 創意設計・芸術学部 法学部 国際学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	所属なし（留学生として特別な授業を除いて基本的にすべての授業が受講可能） *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (9)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前			Global Supply Chain Management		
午後	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前					
午後	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語

3. 履修内容

科目	A103: Introductory Modern Chinese		
履修期間	9月8日～12月26日	単位数	15
授業内容／形態	<p>学期開始前にテストを受験し結果によってクラスが決まる。初学者は受験をパス可能で、自動的に初学者コースに振り分けられる。週15時間（3時間×5日）か週6時間（3時間×2日）を選択し午前中または午後 に振り分けられ受講する。</p> <p><授業形態> 講義、ディスカッション</p> <p><学生数> 約8人</p>		
成績	91		
YCU 振替予定	科目	中国語教養基礎Ⅰ,Ⅱ	
	単位数	6単位	
	担当教員		

科目	Global Supply Chain Management		
履修期間	9月10日～12月24日	単位数	3
授業内容／形態	<p>サプライチェーンについて学ぶ授業。ハーバード大学が提供する分析ツールを用いて、企業のサプライチェーンがどのような構造になっているのかシミュレーションを行う。2～3人のグループを組み、先生から与えられたいくつかのトピックから一つを選び、プレゼンテーションを行う。</p> <p><授業形態> 講義、グループワーク</p> <p><学生数> 約58人</p>		
成績	A+ (95)		
YCU 振替予定	科目	特講（国際商学部留学科目 A）	
	単位数	2	
	担当教員		

科目	A203: Introductory Modern Chinese		
履修期間	2月23日～6月12日	単位数	15
授業内容／形態	<p>上記の“A103: Introductory Modern Chinese”と同じ。基本的に前学期のクラスの持ちあがりであるが、希望者は午前中または午後を選択し、同じレベルの授業に変更をすることができる。</p> <p><授業形態> 講義、ディスカッション</p> <p><学生数> 約6人</p>		
成績	92.3		

YCU 振替予定	科目	自由科目
	単位数	
	担当教員	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

私は今回留学に参加して非常に満足している。留学生生活はとても充実しており、多くの学びと発見を得たからである。約一年の間台湾で過ごすことにより日本では経験することができない多様な価値観、文化に触れることが出来た。

授業はすべてが英語という慣れない環境であり、また授業内容が複雑であったため、最初大きく戸惑いました。そこで自分の英語力の足りなさを実感し、向上に努めました。時間が経過するにつれ向上を実感することが多くなり達成感を覚えた一方、まだまだ至らないことも痛感しました。この経験から英語の重要性を改めて実感し、今後も継続して学びたいと強く実感しました。

また授業を受けている最中、疑問に思ったこと、理解できず困ったことは積極的に周りに助けを求めました。周りにいる人たちはとてもやさしく助けを求めた自分に対しサポートしてくれました。この留学中素直に助けを求めたところ快く手伝ってくれた人がほとんどなので困ったときは迷わず周りを頼ることができるようになった。

言語については中国語の力がこの留学を通して最も成長した。台湾に到着して間もないころは中国語を全く理解できず、レストランで食事をするのも一苦勞であった。大学のカリキュラムで中国語の授業が必修であり、基本的な事項から学習することとなった。発音や声調に苦戦しながらもクラスメイトと共に楽しく学習を続けられた。

また台湾人の友達ができ、現地の人と話す機会が増え積極的に中国語を使うことによってどんどん定着するようになった。間違った表現の場合は指摘してもらい、わからない表現があれば積極的に質問して授業以外の場面でも学習を続けた。結果、留学終了時に台湾の友達と旅行に行く場面があり、日本人一人という環境の中でも中国語を使い何不自由なく楽しむことが出来た。帰国した現在でも友達とは定期的に連絡を取り合っており、中国語は英語同様今後も学習を継続していきたい。

私はこの留学生生活を通して自分の考え方や行動を変えることができた。留学中、誘いをできるだけ断らず、積極的にコミュニティに参加していった。以前の自分では尻込みしていた場面でも、考え方を切り替え行動したことで、多くの貴重な経験を積むことができた。海外という慣れない環境での生活は大きな挑戦であったが、乗り越えることができ、自分の成長を実感している。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学で得た経験を今後の学校生活やキャリア、人生に活かしていきたいと考えている。

学校生活においては積極的に留学生との交流をしていきたいと考える。自分自身、現地の学生に何度も助けられた経験があるため今度は自分が留学生を支える側になりたい。そして現地の学生とコミュニケーションをとることによって様々な発見があった。留学生との関わりを増やして困ったことがあったら積極的にサポートし、自分自身も経験をつみたい。

キャリアにおいては国内に限らずグローバルに活躍したいと考える。この一年間台湾で生活して様々なところに日本企業やその製品、日本文化が身近に存在していることを実感した。また台湾人の人々と交流する中で、日本に対する関心や親しみを感じる機会も多かった。この経験から、日本と台湾をつなぐ仕事に興味を持つようになった。

そして今後の人生においては留学中に触れた多様な価値観を意識しながら生活していきたいと考える。日本にいた時には触れることのなかった価値観が存在していることを理解し、日々のニュースや町の出来事を見る際も、新たな視点を持つようになった。人の持つ考え方や価値観は人それぞれだからこそその違いを認識し、相手を尊重してかわりあうことが大切だと学ぶことができた。この学びを今後の人生において大切にしていきたい。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

留学に行く際、特に重要なことは準備と心構えの2つであると考えている。

まず準備については留学先の国や地域についてしっかり学ぶことやどのような生活になるかまたどんな生活を送りたいか事前にシミュレーションするとよいと思う。自分は現地で生活している際、気候の違いによる体調不良を起こすことがあった。留学開始以前に気候についてもっと調べていればそれに合わせた服装を準備できたことを考えると準備不足であったと考える。また出費はかさむため、金銭面については事前に両親としっかり相談しておくべきである。留学前にどのような生活になるか考えることは難しいことかと思うが、先輩のレポートを読むことで現地での生活を具体的にイメージし、どのような生活をしたいか考えることは可能であると思う。事前にシミュレーションしておくことで、生活の中で起こりそうなトラブルを回避したり、実際に起きた際にうまく対処したりすることができる。

次に、留学前にどれだけ準備しても、トラブルはどうしても起こるものである。例えば寮では四人で共同生活を送ったためしばしばトラブルが起こった。そのような時に過度に落ち込むことや、悲観しないことが大事だと考える。メンタルや気持ちの持ち方は自分次第で変えられるからこそ、少し楽観的に考えることで、一見マイナスに思える経験からも学びを得ることができると思う。ただしすべてを楽観的に捉えるのではなく、自分一人では解決できないことは抱え込まず周りに相談することや時には助けを求めることも必要である。